

第2回 国際戦略総合特区間の連携促進に関する幹事会

羽田空港跡地における 産業交流施設の整備

～ 産業支援施設・国際会議場・展示場～

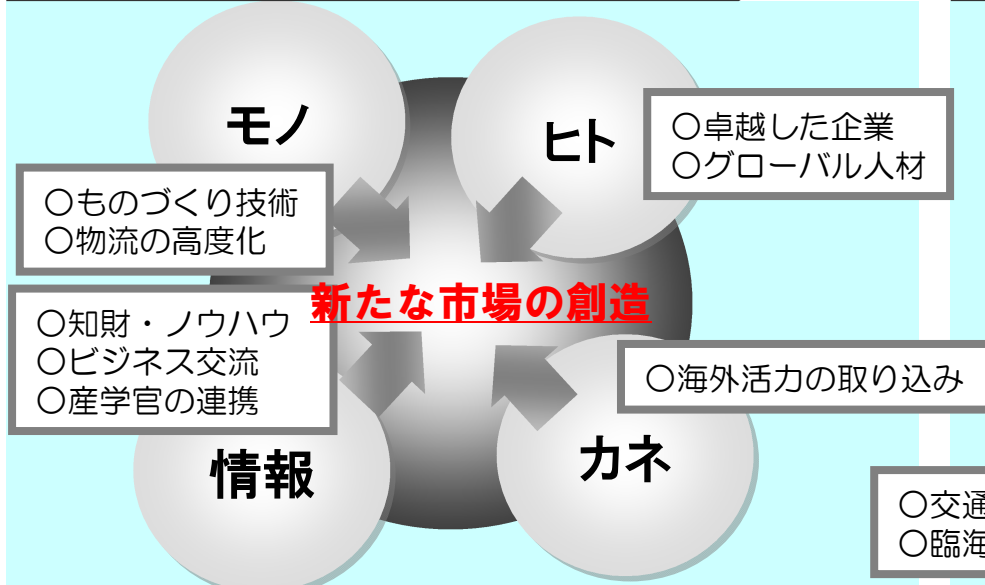
平成24年11月14日(水)

大田区

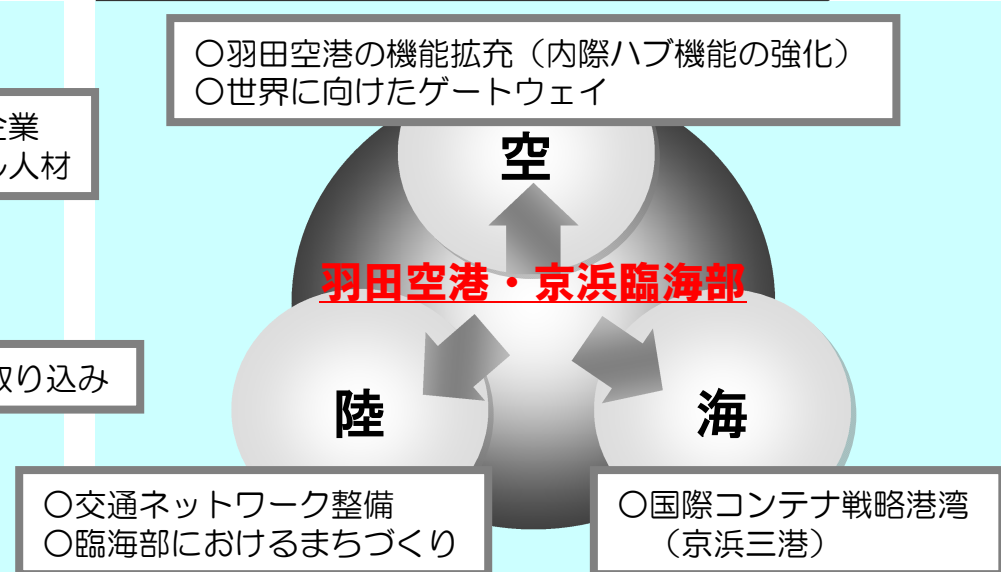
交流の結節点・羽田空港跡地

- 2010年10月、4本目の滑走路（D滑走路）の供用を開始
- 10月末に国際定期便が就航
⇒羽田空港が世界と日本を結ぶ新たな玄関口に

ヒト・モノ・カネ・情報の結節点



国内外のビジネス拠点



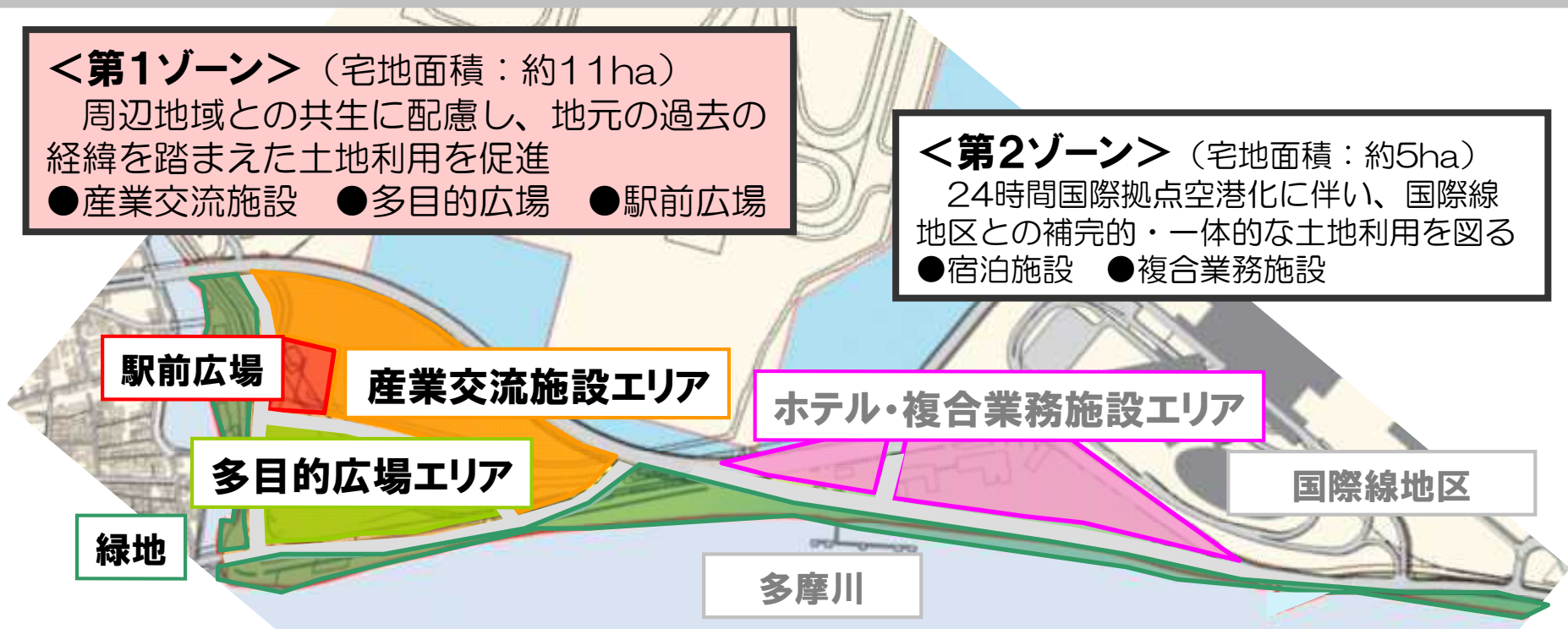
- 京浜臨海部は、全国屈指のものづくり中小企業の集積地
- 中小企業の高度な基盤技術が大企業の生産活動を支え、
わが国のものづくりの競争力の源泉となっている

産業交流施設の整備①（「羽田空港跡地まちづくり推進計画」）

●羽田空港跡地に相応しいまちづくりの早期実現のための計画
 ⇒羽田空港移転問題協議会（国土交通省、東京都、大田区、品川区）が平成22年10月に策定

<第1ゾーン>（宅地面積：約11ha）
 周辺地域との共生に配慮し、地元の過去の経緯を踏まえた土地利用を促進
 ●産業交流施設 ●多目的広場 ●駅前広場

<第2ゾーン>（宅地面積：約5ha）
 24時間国際拠点空港化に伴い、国際線地区との補完的・一体的な土地利用を図る
 ●宿泊施設 ●複合業務施設



| 年度 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | |
|-----------------|---|----|---|----|----|----------------------------|----|----|----|--|
| 想定スケジュール | 短期（概ね2～3年後） ●まちづくりに必要な事前手続き ⇒用地取得に関する調整、都市計画、ガイドラインの策定、民間事業者の公募等 | | 概ね5年後 ●都市基盤及び導入施設の事業着手 ●段階的にまち開き | | | 概ね10年後 ●まちづくりの概成 | | | | |

産業交流施設の整備② (空港跡地の将来像)

- 産業交流施設を「**平成の出島**」として、区内をはじめとする国内企業と海外企業を結ぶゲートウェイとして機能
⇒ ビジネス交流を通じ、**新市場の開拓と新しい技術を創造**

羽田空港跡地の将来像

羽田空港の国際化

+

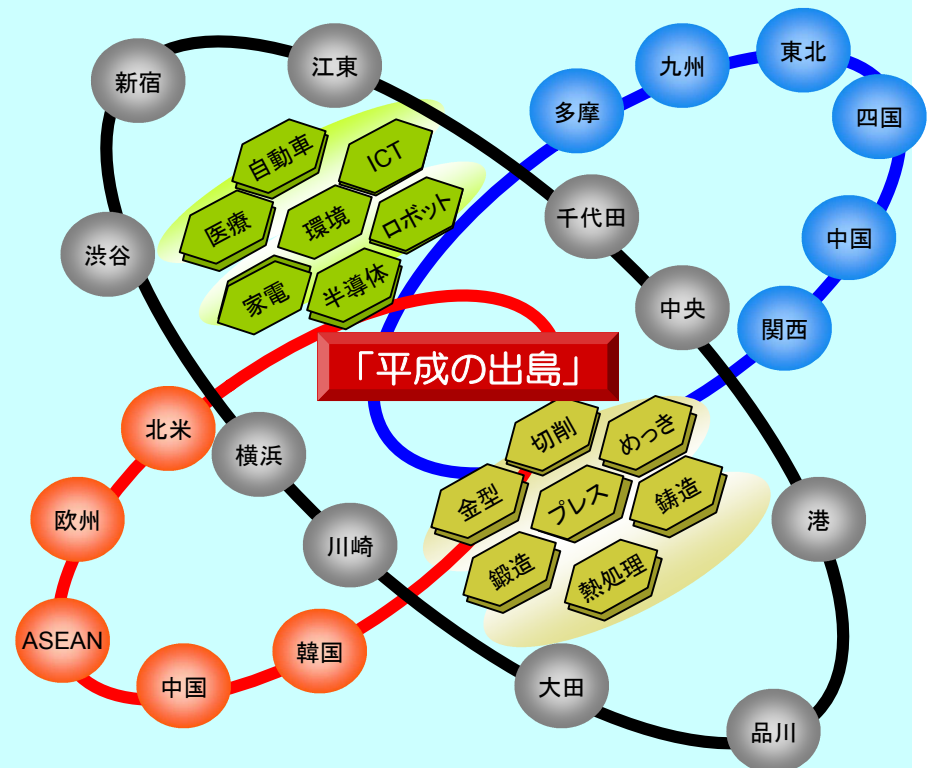
ものづくり企業・産業技術の集積

産業交流施設 (平成の出島)

<平成の出島のイメージ>

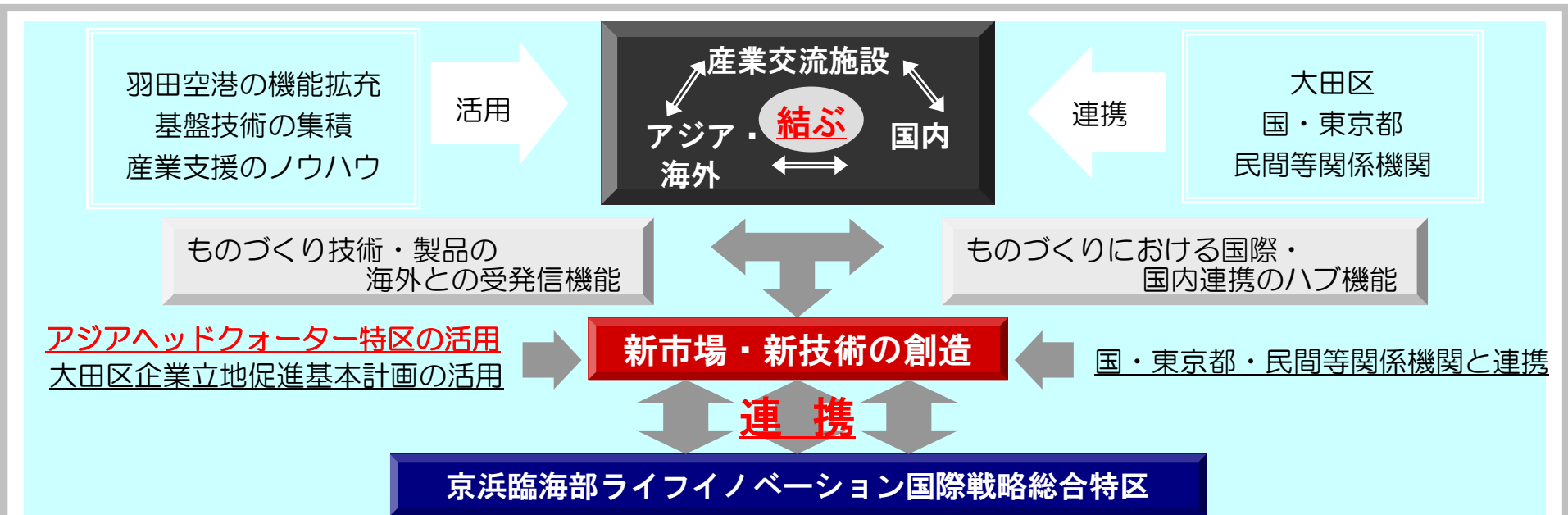
- 国内産業の世界への発信拠点
- 国内外の産学官の交流拠点
- 国や都、他自治体との連携拠点

オープンイノベーションのイメージ



産業交流施設の整備③ (役割と機能)

- 羽田空港の特性を活用し産業交流のための機能を跡地地域に集積
- 産業連携ハブ機能を形成し、日本のものづくりの国際競争力向上や雇用の増加に伴う地域活性化の実現を図る



想定される産業交流施設の機能

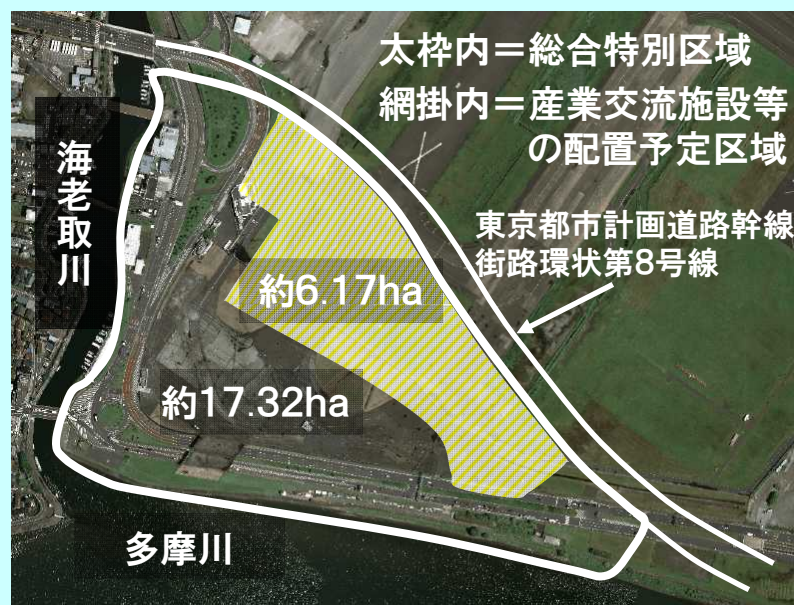
| 産業創出 | 連携ハブ | 誘致促進・マッチング |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○国内中小企業の外国取引支援 ○成長分野への参入促進 ○新産業、新事業の創出支援 ○技術連携、受発注取引の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○国内・国際間の産業・技術連携 ○産学官連携 ○グローバル人材育成の推進 ○民間インキュベーション機関との連携 ○サイエンスパーク等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○国際会議などの開催・誘致促進 ○誘致海外企業と国内中小企業とのビジネスマッチング ○二次投資展開に向けたワンストップサービスの提供 |

産業交流施設の整備④（区が求める規制緩和）

- 産業交流施設用地の随意契約による売払いを可能とすること
- // の減額譲渡を可能とすること
- 「地域産業創造基盤整備事業」による無利子融資の対象を拡大すること

用地処分条件の緩和を求める範囲

- 処分条件の緩和を求めるのは、産業交流施設及び当該施設に必要な駐車場を配置する区域の約6.17ha



※面積はCAD上の概算値

施設配置図案



「京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区」との連携

- 羽田空港を中心に関東圏域で展開される特区と **都県境を越えて連携**
- 既存の産業クラスター群とのつながりを再構築しクラスター間連携を促進
⇒ 連携により相乗効果を産むことで **首都圏の国際競争力を強化**

想定される連携方策

- ライフィノベーション特区内の病院や研究機関が取組む医療機器等の試作や開発等の **研究開発側のニーズと、区内・周辺地域のものづくり企業の持つシーズをマッチング**
- 東京に誘致した企業と区内ものづくり企業・京浜臨海部企業との **交流を促進**
- 展示会の開催やファシリテーターの配置により、医療関係企業のPRの場を設けるとともに、京浜臨海部企業の販路拡大や技術の高度化に向けた機会を提供

